

I 法人機関

理事会

1. 構成員

[理事長] 日野原重明

[理事] 井部俊子、福井次矢、岡堂哲雄、青木康子、内田卿子、山口喜義、鈴木典比古、小島操子、鴨下重彦(11月まで)、細谷亮太、上田憲明

[監事] 岩井郁子、吉羽真治

2. 役割・職務

- 1) 学校法人の業務を決し、役員を選任、解任、退任を行う。理事の職務の執行を監督する。
- 2) 理事長を選任し、理事長は、法人を代表し、その業務を総理する。
- 3) 監事は、法人業務および財産の監査を実施、監査報告書を理事会、評議員会に提出する。

3. 活動内容

下記のとおり4回の理事会を開催した。

- 1) 2011年5月27日(金) コートヤード・マリオット銀座東武ホテル
理事12名出席(うち3名委任状出席)、監事2名出席
①2010年度決算の承認 ②同決算の監査報告
③2012年度入学生の学納金の決定 ④学則変更の承認
- 2) 2011年9月20日(火) コートヤード・マリオット銀座東武ホテル
理事12名出席(うち1名委任状出席)、監事1名出席、1名欠席
①理事会推薦の学長候補者推薦委員3名の決定
②資産運用規程改正 ③その他(聖路加国際病院が目指しているメディカルスクール設置・学校法人化に関連して、将来は本学が病院と一体化することの検討開始の了承)
- 3) 2011年12月14日(水) 東京新阪急ホテル築地
理事11名出席、監事2名出席
①理事長退任の決定 ②新理事長の選出 ③名誉理事長の称号に関する規程承認 ④名誉理事長授与者の決定 ⑤その他

- 4) 2012年2月25日(金) コートヤード・マリオット銀座東武ホテル

理事11名出席、監事2名出席

- ①次期学長の選出 ②2012年度学費承認 ③学則変更承認 ④2012年度事業計画・予算案の承認 ⑤規程の制定および改正(学費の納入および学費の取り扱いに関する規程、サポーター制度に関する規程、以上制定、論文博士内規、ティーチングアシスタント規程・同細則改正、危機管理規程改正、ウパウパ奨学金規程改正、認定看護師教育課程規則改正) ⑥理事・評議員の選任

4. 課題

- ①新理事長を支える理事会機能の強化
- ②学校法人としての中長期計画の具体化に向けて、経営企画部門を中心とした法人事務局体制の整備が課題である。

常任理事会

1. 構成員

[理事長] 日野原重明

[常任理事] 井部俊子、小島操子、山口喜義

[監事] 岩井郁子、吉羽真治

2. 役割・職務

常任理事会は、理事会の委任に基づき経営の基本方針、全般的業務執行方針、並びに重要な業務の計画・実施に関し協議し、理事会に付議する事項を除き審議し決定する。(常任理事会規程第1条) 付議事項については、同規程別表1に定められている。

3. 活動内容

- 1) 第23回 2011年5月19日(木) 会議室
①2010年度決算案 ②2010年度決算の監査報告
③2012年度入学生の学納金 ④学則変更が承認された。
- 2) 第24回 2011年9月6日(火) 会議室
①理事会推薦の学長候補者推薦委員3名について
②資産運用規程改正が承認された。

- 3) 第25回 2011年12月6日(金) 書面会議
 ①理事長退任の件 ②新理事長選出に関する件
 ③名誉理事長の称号に関する件が承認された。
- 4) 第26回 2012年2月14日(火)
 ①次期学長選出の件 ②2012年度学費 ②学則変更
 ③2012年度事業計画・予算案 ④規程の制定および改正 ⑤理事・評議員の選任が承認された。

4. 課題

学内の常任理事会メンバーである理事長、学長、財務理事(事務局長)は毎週打ち合わせを行っており、日常的な業務執行体制は順調に行われている。しかし、学外常任理事を含めた常任理事会は開催回数が少なく、理事会提案事項の検討確認が主な内容である。理事会が経営、管理運営を実質的に担うためには常任理事会を強化することが必要である。

評議員会

1. 構成員

[理事長] 日野原重明

[評議員]

第1号評議員(大学教職員)6名…堀内成子 山口喜義、田代順子、菱沼典子、上田憲明、白木和夫

第2号評議員(卒業生)9名…青木康子、内田卿子 深田清香、井部俊子、長濱晴子、岩間節子、渡部尚子、小松美穂子、鶴田恵子

第3号評議員(理事会)9名…日野原重明、鴨下重彦(11月まで)、岡堂哲雄、櫻井健次、押見輝男、江尻美穂子、深瀬須加子、船本弘毅、若井恒雄

第4号評議員(病院職員)4名…小松康宏、佐藤エキ子、熊谷三樹雄、石川陵一

[監事] 岩井郁子、吉羽真治。

2. 役割・職務

寄付行為に定められている諮問事項について理事長はあらかじめ評議員会の意見を聞かなければならない。また、法人業務、財産の状況、役員の業務執行状況について意見を述べもしくはその諮問に答え、または役員から報告を徴することができる。

諮問事項は、予算、借入金、基本財産の処分、事業計画、予算外の新たな義務負担または権利の放棄、寄付行

為の変更、合併、解散、寄付金品の募集等である。

3. 活動内容

下記のとおり4回の評議員会を開催した。

- (1) 2011年5月27日(金)コートヤード・マリオット銀座東武ホテル
 評議員28名出席(うち3名委任状出席)、監事2名出席
 ①2010年度決算案 ②同決算の監査報告
 ③2010年度入学生の学納金 ④学則変更の了承
- (2) 2011年9月20日(火)コートヤード・マリオット銀座東武ホテル
 評議員28名出席(うち1名委任状出席)、監事1名出席、1名欠席
 ①任期満了に伴う学長選出手続の報告 ②資産運用規程改正
- (3) 2011年12月14日(水)東京新阪急ホテル築地
 評議員27名出席(うち2名委任状出席)、監事2名出席
 ①理事長退任 ②新理事長選出 ③名誉理事長の称号に関する件の了承
- (4) 2012年2月24日(木)コートヤード・マリオット銀座東武ホテル
 評議員27名出席(うち1名委任状出席)、監事2名出席
 ①次期学長の選出 ②2012年度学費 ③学則変更 ④2012年度事業計画・予算案 ⑤規程の制定および改正(学費の納入および学費の取り扱いに関する規程、サポーター制度に関する規程、以上制定、論文博士内規、ティーチングアシスタント規程・同細則改正、危機管理規程改正、ウパウパ奨学金規程同細則改正、認定看護師教育課程規則改正) ⑥理事・評議員の選任 の了承

4. 課題

学校法人に関する重要事項の審議、理事長への意見具申が行われ、個別の議事に関する意見交換も活発である。とりたてて課題はない。

募金活動推進委員会

1. 構成員

[委員長] 井部俊子 (学長)

[委員] 内田卿子 (同窓会長)、熊谷三樹雄 (聖路加国際病院事務局長)、古川恵一 (学生父母)、山口喜義 (事務局長)、稲田昇三 (事務局)

2. 役割・職務

募金計画を立て、募金活動の推進を行う。

2010年9月30日の評議員会・理事会決定により本委員会を設置、第1回委員会を同年10月29日(金)に開催

3. 活動内容

2011年度には第5回4月12日(火)、第6回5月13日(金)、第7回6月16日(木)、第8回7月20日(水)、第9回9月21日(水)―台風15号のため中止、第10回12月13日(火)、第11回2月9日(木)、6度の委員会を開いた。

5月、サポーター募金の口座引落とし集金会社を三菱UFJファクターに決定。

6月、サポーター募金をスタート(同窓会総会134名にパンフレット、申込書、自動引き落としの手続書等の募金キットを配付)。

7月、サポーター募金キットを教職員85名に配付、学園ニュースN0.297に同封して、学生家族500名および役員・評議員、元役員、寄付実績者など110名に送付、るかなびミニコンサート来訪者32名に配付、認定看護師教育課程受講者50名に配布。

9月、認定看護管理者ファーストレベルの受講者97名にサポーター募金キットを配布。聖路加国際病院予防医療センター、トイ斯拉ークラブ等にサポーター募金キットを設置。

9月9日、文部科学省に対し「学校法人等に対する個人からの寄付の税額控除」の認可申請、11月17日、大臣認可。

11月、同窓会便りに同封して同窓会員3,100名にサポーター募金キットを送付。

12月、「サポーター制度に関する規程案」について検討し、2月の理事会に提出した。

2012年1月、ホームページに「大学へのご支援をお考えの皆様へ」を掲載した。

3月、学園ニュースNo.298に同封して、「サポーター募金」「教育研究維持充実資金」のキットを学生の家族へ送付した。

KKゾンネン・シャイン(財団)からの寄付による学部「入学試験成績優秀者育英制度」は、2012年度は寄付者の都合により中止することにした(1月)。一方、同財団より東日本大震災被災者である2012年度学部入学生1名に対して4年間の学費相当金額を寄付されることが決まった(2月)。

4. 課題

- (1) 多岐にわたる募金目的がわかりにくい、また再三にわたって募金要請状が来ることに抵抗感があるという募金者の声があり、今後募金の種類を統合するなどわかりやすくする必要がある。
- (2) 寄付金の税額控除の認可資格を継続するためには、5年間の平均で年間100名以上の募金者(役員からの寄付や重複を除く)を要し、サポーター募金のように多数の募金者の確保が必要である。
- (3) 積極的な募金活動を行うための専任者の設置が必要である。

5. データ

2011年度寄付金実績

	件数	金額(千円)
施設設備充実基金	3	225
教育・研究振興資金	6	730
教育研究維持充実資金	42	6,746
大学史編纂・自校教育・資料保存展示事業募金	15	2,042
90周年記念事業	1	300
未来の助産師奨学基金	2	115
青木奨学金・ウパウバ奨学金	2	252
特待生給付奨学金資金	1	10
寄附講座・共同研究事業	3	23,100
指定寄付金(研究者・研究室指定)	0	0
るかなび基金(聖路加健康ナビスポット)	2	110
指定寄付金(東日本大震災関連、体育デー、表彰者副賞資金)	3	900
サポーター募金	49	1,210
その他の寄付	1	50
現物寄付		6,140
合計	130	41,930

2011年度サポーター募金実績

	人	人数(%)	金額(千円)	金額(%)
同窓生(教職員・評議員も含む)	24	49%	700	58%
教職員(元職も含む)	8	16%	240	20%
在学生家族	9	18%	140	12%
役員・評議員(元も含む)	5	10%	100	8%
るかなび関係者	2	4%	20	2%
認定課程学生	1	2%	10	1%
その他	0	0%	0	0%
計	49		1,210	